

学習会「労働組合とは」を開催

新潟県医労連青年部は2月8日(土)に学習会を新潟市・駅南貸会議室 KENTO で行い、5名が参加しました。今回は「労働組合とは」をテーマに、県医労連・坂詰明広書記長(白根保健生協労組執行委員長)を講師に迎え、講演とグループワークを行いました。

講演では、坂詰書記長が以前は労働組合のない職場で働いていたことから、「経営者と闘うには退職覚悟。共に闘う仲間はいなかった」と、当時の様子を紹介され、職場に労働組合があることの大切さや医労連の仲間から学んだことなど、経験をまじえたお話をしていただきました。青年部活動もされていた坂詰書記長は、「青年部時代にどれだけ仲間をつくって活発に活動したか、その横のつながりが将来の財産になる」と話し、労組役員になって悩んだりしたとき、青年部時代からの仲間は大きな支えになることを強調されていました。そして、「自分のための労働組合活動を」と呼びかけ、労働組合を活用して人生を豊かにしようとアドバイスをいただきました。



グループワークでは、「ワールド・カフェ」というやり方で、①青年部を楽しくするためにはどうしたらいいか、②青年部で困っていること、をテーマに、意見交換をしました。

参加者からは、「心に響く内容だった」「青年部を続けて仲間をつくりたい」「職場に労働組合があってよかった」などの感想が寄せられました。

参加者からは、「心に響く内容だった」「青年部を続けて仲間をつくりたい」「職場に労働組合があってよかった」などの感想が寄せられました。

青年部の仲間は財産！ 労組を活用して人生を豊かに

【今後の予定】 **新歓企画を成功させよう！**

県医労連青年部として初めての「新歓企画」を準備しています。詳細が決まりしだいご案内します。

